

**MODEL MATERI PEMBELAJARAN POLA UNGKAPAN YANG
TERDAPAT PADA LIRIK LAGU JEPANG KARYA GRUP MUSIK
STEREOPONY**

(KAJIAN MATERI AJAR TINGKAT DASAR MENENGAH (N4))

Tiarayanti Kasidi

1006869

Abstrak

Pola ungkapan merupakan salah satu aspek yang sangat penting dalam bahasa Jepang. Pemahaman dan penggunaan pola ungkapan sangat dibutuhkan dalam berkomunikasi. Namun tentunya dalam bahasa Jepang ini ada beberapa pola yang sama akan tetapi penggunaannya berbeda. Pembelajar pastinya memerlukan pemahaman yang baik agar dapat menggunakan pola-pola tersebut sesuai dengan konteksnya. Agar pembelajar lebih mudah menguasai dan membedakan pola-pola tersebut diperlukan metode atau pun materi yang tepat. Penelitian akan berbagai metode dan media dalam pengajaran bahasa Jepang memang sudah banyak dilakukan. Namun penelitian akan materi pembelajaran itu sendiri pun diperlukan agar pengajar dapat mengemas materi pembelajaran yang memudahkan pembelajar dalam memahami pola yang diajarkan. Dalam penelitian ini penulis menggunakan 3 lagu karya Stereopony sebagai materi pembelajaran pola ungkapan tingkat dasar menengah atau setara N4. Hasil dari penelitian ini menunjukkan bahwa terdapat 14 pola ungkapan tingkat dasar menengah yang terdapat pada ke 3 lirik tersebut. Kemudian penulis mencari makna dan fungsi dari pola-pola ungkapan tersebut dari berbagai sumber, serta contoh-contoh lain dalam penggunaan pola tersebut dalam berbagai konteks. Lagu tersebut beserta fungsi dan contohnya diharapkan dapat menjadi materi pembelajaran yang dapat memudahkan pembelajar dalam memahami pola-pola ungkapan.

Kata kunci: pola ungkapan, materi pembelajaran

Tiarayanti Kasidi, 2016

**MODEL MATERI PEMBELAJARAN POLA UNGKAPAN YANG TERDAPAT PADA LIRIK LAGU JEPANG
KARYA GRUP MUSIK STEREOPONY**

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

**EXPRESSION PATTERNS LEARNING MATERIALS MODEL THAT
FOUND IN STEREOPONY'S JAPAN SONG LYRICS
(STUDY OF BASIC-INTERMEDIATE LEVEL (N4) LEARNING
MATERIAL)**

Tiarayanti Kasidi
1006869

Abstract

The pattern of expression is one very important aspect in Japanese. Understanding and usage of the expression pattern is needed in communicating. But of course in Japanese, there are some patterns are the same but different usage. Learners certainly requires a good understanding in order to use the patterns according to the context. So that learners more easily master and distinguish the patterns required method or any appropriate material. Research about a variety of methods and media in the teaching of the Japanese language is already done. However, the research about the learning material was necessary, so that the teacher can pack the learning materials that facilitate learners in understanding the pattern taught. In this study the authors used three songs by Stereopony as expression pattern learning material of intermediate basic level or equivalent N4. Results from this study indicate that there are 14 basic-intermediate level expression patterns found on the 3 lyrics. Then the authors find meaning and function of the expression patterns from various sources, and search the examples of the patterns that use in a variety of contexts. The song and its functions and examples expected to be material that can facilitate learners in understanding the patterns of sentence.

Keyword: expression patterns, learning material

ステレオポニーバンドの日本歌詞にある表現文型を教材に作成する
について
(初級から中級レベル (N4) への教材の研究)

ティアラヤンティ カシディ

1006869

要旨

表現文型は、日本語で重要なよそである。表現文型の使用する理解度が必要である。ただし、日本語では、いくつかの文型は同じであるが異なる使用されているよくある。学習者は、確かに、場面に応じた文型を使用するために十分な理解が必要である。学習者が簡単に表現を習得するためにメソッドまたは適切な材料が要ると思われる。日本語の教育で様々なメソッドまたはメディアの研究がたくさんあるが学習者が文型を分かるために教師が適切な教材を必要である開発から教材の研究が要ると思われた。この研究では、初級から中級への表現文型の教材によって筆者は3曲のステレオポニー歌を開発する。この研究の結果で3つの歌詞から初級から中級への表現文系が14あることを示している。そして、筆者は様々な参考書から表現文型の意味と様々な機能を見つけるし、さまざまな状況で使用の文型の他の例を見つけられ、この歌や表現文型の機能や文型の例は表現文型の教材になり、学習者がより簡単に教材を理解ことができるようになる。

キーワード: 表現文型、教材

A. はじめに

表現文型は、日本語を学んで習得しなければならない一つの余所である。学習者は、表現文型に遵守良いしている場合、学習者は非常によく日本語でコミュニケーションできるようになるからである。しかし、日本語の表現文型は、異なる機能を持つ非常に多様である。学習者は、文型を理解し、覚えやすいことができるように正しい方法が必要である。以上のことは教材を作成

Tiarayanti Kasidi, 2016

MODEL MATERI PEMBELAJARAN POLA UNGKAPAN YANG TERDAPAT PADA LIRIK LAGU JEPANG KARYA GRUP MUSIK STEREO PONY

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

することになることも出来る。この研究で筆者は日本の歌を使用作戦のであるためな日本語の学習者は日本の歌が好きと思われた。さらに、歌の歌詞の中で様々な表現文型が多くある。そのため、日本の歌は表現文型を勉強するために使用されるし、歌で日本語を学ぶとき学習者は興味があるし、そして何かを学ぶことが簡単に覚えられるようになる。

B. 目的

本研究の目的は、選ばれたの3曲ステレオポニー歌の歌詞でどんな表現文型があることを見つける。そんな表現文型を知ったあと、その文型の意味または機能を見つけるし、様々な場面他の文の例を与えるで本研究の結果は学習者が表現文型が簡単に分かる教材になると願われた。だから、歌は聴解のメディアになるだけでなく、文法や表現文型の教材になれることを証明することができます。

C. 研究の方法

Sutedi (2009 : 53)によると、研究での方法は、計画、実施、及び結論から体系的な作業であるステップ、ある方法または手順として解釈することができることが明らかに述べた。

この研究で筆者は、定性的な記述法を使用していました。 Sutedi (2011 : 58)は記述的研究は、実際の問題を解決するために科学的な手順を使用するし、この時に発生する現象を説明するし、例示するために行われたことを説明する。

そこで、本研究で筆者は記述的な研究方法を使用することに当たって、後で見つけたものやこの研究の結果を明らかに説明する。

本研究は、記述的研究に含まれています。 Sugiyono (2008 : 1)によるとこの研究で筆者は、研究道具のキーとしてです（相手が実験であるように）、定性調査は自然であるオブジェクトの状態を調べるために使用される研究方法であると主張しているデータ収集技術は、三角測量（組み合わせ）を実施

Tiarayanti Kasidi, 2016

MODEL MATERI PEMBELAJARAN POLA UNGKAPAN YANG TERDAPAT PADA LIRIK LAGU JEPANG KARYA GRUP MUSIK STEREO PONY

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

し、データ解析誘導性、及び一般化の研究であるとのべられた。

本研究のサンプルでは、ステレオポニーにより 3 曲すなわちひとひらなし花びら、ありがとうと泣かないでの曲である。その歌の中であまり難しくない文型を使用するから、学習者はその 3 曲歌を選んだのである。。それから歌の歌詞の意味は優しく意味を把握すると思われる。

本研究ではインストゥルメントは、初級一中級あるいは日本語能力試験 N4 である表現文型のリストである。

データ収集及び処理の技術が次のようである。

1. 参考文献調査

文献の調査するために参考を読むことによってデータを収集する技術である。この場合、筆者は、媒体の基本的なレベルに含まれる日本語能力試験、特定の文型で見出される表現文型に関連して本を読んで、筆者はまた、学習や学習教材の準備に関連して本からデータを読み取り、収集する。

2. 歌詞は日本語能力試験 N4 に含まれる文型を用いて文章を決定、その後、中間の基本的なレベルの表現文型に含有させることができるかを決定する。

3. この選んだ歌の歌詞である表現文型が様々な源で例として本やウェブサイトで文型の意味を探し分析された。そして、また、文型の他の例を見つけた。データを収集した後、各文型の意味が締結され、筆者は学習教材の基準に合致する例を見つけられた。、

D. データ分析

「一枚の花びら」、「ありがとう」、「泣かないで」の 3 曲ステレオポニーのうち 15 の文型があり、中級の基本的なレベルの表現文型に含まれるか、または次のような同等の N4 がある。

1. ~そうです

この文型は、2 つの機能を有する。

a. インドネシア語の「sepertinya」あるいは「kelihatannya」という意味の

Tiarayanti Kasidi, 2016

MODEL MATERI PEMBELAJARAN POLA UNGKAPAN YANG TERDAPAT PADA LIRIK LAGU JEPANG KARYA GRUP MUSIK STEREO PONY

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

文型

この文型を理解するために学習を容易にするため、様々な態様のこの文型を使用する他の例も与えられるべきです。ここでは、このパターンを使用したサンプル文である。

- 例: 1) 雨が降りそうです。(Sutedi (2007 : 72))
- 2) あの木は倒れそうです。(Sutedi (2007 : 72))
- 3) この辞書はよさそうです。(Tjhin (2012 : 16))

b. インドネシア語の「katanya」という意味文型

例: 1) 田中一さんはインドネシア語を勉強しているそうです。
(Tjhin(2012:14))

- 2) その車は高いそうです。(Tjhin (2012 : 15))
- 3) 彼は日本語が上手だそうです。(Tjhin (2012 : 15))
- 4) 天気予報によると、明日は雨だそうです。(Tjhin (2012 : 15))

2. ~のような

インドネシア語でこの文型は、「seperti」という言葉と解釈することができる。

- 別の例文 : a. 幽霊を見たような顔。(Tjhin (2012 : 22))
- b. 起きているようなひと。(Tjhin (2012 : 22))
- c. 子供のような大人。(Tjhin (2012 : 22))
- d. 棒のようなもの。(Tjhin (2012 : 22))
- e. 嘘のような話。

3. ~のように

この文型は、いくつかの意味があります :

a. インドネシア語の「seperti」という意味文型

- 例: 1) 先生の言うようにします。
- 2) お酒を飲んだように顔が赤い。

3) あなたのようにきれい。

b. インドネシア語の「supaya」という意味文型

例: 1) 読めるように字を大きく書きます。

2) 病気にならないように毎日運動しています。

3) 先生は学生に勉強するように言いました。

c. ようには何か/誰かのために希望と言う意味

例: 1) 父の病気は早く治りますように

2) U-19歳インドネシア代表は勝ちますように

d. 落ち着かせるか、人を支配することをと言う意味文型

例: 1) 飲み過ぎないように気をつけてね。

2) まだ熱いから触らないように。

e. ナルを変更する単語の文型

例: 1) 詳しく教えたから分かるようになきました。

2) 日本に住んでいるから日本語が出来るようになります。

4.はず

はずと言うのはインドネシア語で「seharusnya」、「semestinya」、または「pasti」という意味である。でも「はずが/はない」の文型は人が何かの可能性が全くない(0%)がある起こっていることを述べるために使用される。

例: a. 彼はたなかさんを知っているはずです。

b. 「たなかさんも来ますか?」「はい、そのはずです。」

c. 図書館は静かなはずです。

d. こんなややこしい話が子供にわかるはずがない。

e. そんなはずありません。もう一度確認して下さい。

5.~ないで

次のようにこの文型は2つの機能がある：

a. インドネシア語の「jangan」という意味「ないで」である。

Tiarayanti Kasidi, 2016

MODEL MATERI PEMBELAJARAN POLA UNGKAPAN YANG TERDAPAT PADA LIRIK LAGU JEPANG KARYA GRUP MUSIK STEREO PONY

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

例: 1) ここでたばこを吸わないでください。(Tjhin(2012:8))

2) どこへも行かないでください。(Tjhin(2012:8))

3) 辞書を見ないでください。(Tjhin(2012:8))

b. 「なし」という意味「~ないで」である。

例: 1) 朝ご飯を食べないで学校へいきました。(Sutedi (2007 : 80))

2) タベ晩ご飯を食べないで寝ました。

6. のに

機能 : 反対の2つの文のための単語として。

定義 : それはインドネシア語で「padahal」「tetapi」、「meskipun」、
「untuk」と解釈することができる、

例 : a. 今日は暑いのに、セーターを着ています。

b. 昨日は休みだったのに、仕事をしました。

c. 来週テストがあるのに、弟は遊んでいます。

d. ダイエットをしたのに、太りました。

(<http://topbahasajepang.blogspot.co.id/2015/02/perbedaan-noni-dan-node-dalam-bahasa.html>)

7. ~させる

定義 : ~させるは、「作成」、「送信」または「許可」と解釈することができます。

例: a. 兄は弟に本を読ませました。(Sutedi (2007:134))

b. 先生が生徒達を座させます。S(utedi (2007:137))

c. 先生が生徒達に座させます。(Sutedi (2007:137))

8. ~てあげる

この文型は、フレーズにあります。

定義 : 「~てあげる」持っている動詞は「私は他の誰かのために何かをやっ

ている」という意味。

- 例: a. 私は子供におもちゃを買ってあげます。 (Sutedi (2007 : 79))
- b. 私は弟に荷物を運んであげます (Sutedi (2007 : 95))。
 - c. 私はさとう一さんをホテルまで案内してあげます。
 - d. 私は妹を病院へ連れてあげました。
 - e. 私は山田さんの車を洗ってあげます。

9. ~てくれる

機能：この文型は、「誰かが私に何かを行っている」、または3人が2人のために何かを行っていることを宣言するために使用される。

- 例: a. iPodの父はを買ってくれました。 (Tjhin (2012 : 40))
- b. お金を貸してくれませんか。 (Tjhin (2012 : 40))
 - c. 田中一さんは夕飯を作ってくださいました。 (Tjhin (2012 : 40))
 - d. あの人は道を教えてくださいました。 (Tjhin (2012 : 40))
 - e. たなかさんにダーさんに漢字を読んでもくれました。 「79」

10. ~てごめん/すみません

機能：何かをしたことで謝罪を表現するために使用される。

- 例: a. 遅れてすみません。 (Tjhin (2012 : 34))
- b. 声が大きくてすみません。 (Tjhin (2012 : 34))
 - c. 話が複雑ですみません。 (Tjhin (2012 : 34))
 - d. 汚い言葉を使ってすみませんでした。

11. なら

機能：文モダリティで使用されるが、アドバイスや通知である仮定により機能する。

- 例: a. このような仕事なら、子供でもできますよ。 (Sutedi (2007 : 149))

- b. 車を買うなら、日本の車が安いですよ。(Sutedi (2007 : 149))
 - c. そんなに頭が痛いならこの薬がいいですよ。(Sutedi (2007 : 149))
 - d. 私があなたならば、そんなことはしない。(Sutedi (2007 : 149))
- (Sutedi (2007 : 149))

12. ~たまま

機能：インドネシア語の「dalam keadaan」という意味である。

- 例: a. 彼は靴を履いたまま、寝てしまいました。(Sutedi (2007:84))
- b. 電気をつけたまま寝てしまいました。(Tjhin (2012:45))
 - c. ドアを閉めないまま出かけてしまいました。(Tjhin (2012:45))

13. ~ていく

機能：ものがこちらに向かって移動している/こちらから向こうへ移動している/特別なできごとの日時が近づいている。

- 例: a. 辞書を持っていきます。(Tjhin (2012:37))
- b. 学校までバスに乗っていきます。(Tjhin (2012:37))
 - c. この国は強くなっていくはずです。(Tjhin (2012:37))

14. ~こと

機能：文の名詞化

- 例: a. いいことも悪いことも知らせましょう。(Tjhin (2012:46))
- b. 大事なことを教えてもらいました。(Tjhin (2012:46))
 - c. 田中先生のことを思い出しました。(Tjhin (2012:46))

E. 終わりに

本研究には3曲の中で表現文系が15つある。本研究の結果を見るで教師が正しい方法で教材を作成したら日本の歌は開発教材になれるのでこの方法で学習者は教材が分かりやすいと願われる。次の筆者はこの歌で教材として教えるに関する研究をするのが実施する。

F. 参考文献

Shiang, Tjhin Thian (2012). *Kiat Sukses Mudah & Praktis Mencapai N4*. Bandung: Gakushudo.

Sugiyono. (2008). *Memahami Penelitian Kualitatif*. Bandung: Alfabeta.

Sutedi, Dedi. (2011). *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.

Sutedi, Dedi. (2007). *Nihongo no Bunpou: Tata Bahasa Jepang Tingkat Dasar*. Bandung: Humaniora

(<http://topbahasajepang.blogspot.co.id/2015/02/perbedaan-noni-dan-node-dalam-bahasa.html>)